女子準V 全国へ

3位 男子は潟端3位

大友千種

（1位と関係分）

【男子】◇1部▽個人総合＝①須川侑生（札幌啓成）76・350②清野竜仁（江陵）74・350③沼田京助（帯柏葉）73・650▽ゆか＝①須川侑生12・950⑦沼田京助12・250⑰清野竜仁11・200▽あん馬＝①須川侑生12・600②沼田京助12・300③清野竜仁12・200⑮村橋舜（江陵）9・850・あん馬のみ出場▽つり輪＝①清野竜仁13・550④沼田京助11・850▽跳馬＝①須川侑生13・550②清野竜仁12・950③沼田京助12・750▽平行棒＝①清野竜仁12・900④沼田京助12・200▽鉄棒＝①沼田京助12・300⑤清野竜仁11・550

潟端雅史（帯大谷）2 2121 1118 0 林玖憲（旭川東）
齋藤 2 2122 1020 0 上福彪太（利尻）
白川友基（帯大谷）2 2121 1113 0 中村一也（釧路高専）

▽準々決勝

潟端 2 2123 1321 0 鈴木凛夢（美唄尚栄）
遠藤真彦（旭川実）2 2121 1919 0 齋藤
坂牧大地（旭川実）2 2121 1518 0 白川
片桐 2 2421 2214 0 潟端

【女子】◇個人戦北海道シングルス▽1回戦

渡紗耶加（帯南商）2 2121 1913 0 田中方貴（深川西）

▽2回戦

佐藤未唯（旭川実）2 2121 1110 0 渡
花田麻由（深川西）2 2121 1117 0 関口
只野真理（帯大谷）2 2121 1817 0 藤井唯香（釧路江南）
関口いつき（帯大谷）2 2121 148 0 成田彩華（稚内）

▽準々決勝

大友千種（帯大谷）2 2121 1514 0 藤島綾未（遠軽）
只野 2 2121 1517 0 佐藤亜美（北見柏陽）

▽準々決勝

大友 2 2221 2017 0 榎本凪歩（旭川実）
只野 2 2121 1619 0 佐々木百花（深川西）

▽決勝

佐藤不戦勝 大友

江陵女子3敗で4位

女子 旭川実 男子 東海大四 優勝

バレーボール

（19日・帯広の森総合体育館）

最終日は男女各4強による決勝リーグを行った。3年連続で同リーグに進出した女子の江陵は、札幌、旭川の強敵相手に競り合うセットがあったものの3連敗し、4位に終わった。男女各2位以上がインターハイ（女子は7月28日～8月1日、男子は8月2～6日・大阪市など）出場を決めた。旭川実は11年ぶり19度目の優勝。準優勝の札幌山の手は道下ひなの（3年・帯七中出）がセンターで先発出場した。男子は3戦全勝で東海大四（札幌）が2年連続32度目の優勝。佐藤史都（3年・緑南中出）がレフトで先発出場した。（岡部彰広）

【男子】◇決勝リーグ

とわの森三愛（江別）2 25 25 19 18 15 25 1 釧路工
東海大四（札幌）2 25 25 18 13 0 道尚志学園（札幌）
東海大四 2 25 25 17 20 0 とわの森三愛
道尚志学園 2 25 25 23 17 0 釧路工

▽順位＝①東海大四3勝②道尚志学園2勝1敗③とわの森三愛1勝2敗④釧路工3敗

【女子】◇決勝リーグ

東海大四 2 25 25 18 18 0 釧路工
道尚志学園 2 25 25 23 20 0 とわの森三愛
札幌山の手 2 30 25 28 15 0 江陵
旭川実 2 25 25 20 17 0 札幌大谷
旭川実 2 25 25 18 13 0 江陵
札幌大谷 2 25 25 16 22 0 江陵
旭川実 2 25 25 18 23 0 札幌山の手

▽順位＝①旭川実3勝②札幌山の手2勝1敗③札幌大谷1勝2敗④江陵3敗

【女子決勝リーグ・江陵―札幌大谷】第2セット終盤、江陵の先崎あずさ主将がツーアタック

【男子決勝リーグ・東海大四―釧路工】第1セット、東海大四の佐藤史都がスパイクを決め17―14とする

惜しい試合続き リズムに乗れず

江陵女子

○…江陵は3年連続の決勝リーグ進出を果たしたが、今回も惜しい試合をしながら無念の3連敗でインターハイ出場を逃した。

決勝リーグ初戦（札幌山の手）で、第2セットを終始リードしながら28―30で奪われて以降、リズムに乗り切れなかった。

1、2年生が多いチームだけに、まだまだ伸びしろは大きい。福田まどか監督は「普段の練習の力が出せなかった。自分たちから（流れを）止めてしまった。全てにおいて弱かったということ」と選手に反省を促しつつ「選手権（春高）に向けもう一度つくり直しです」と話していた。

強くなった姿 地元で見せ歓喜

東海大四・佐藤（緑南中出）

○…東海大四のレフト佐藤史都（緑南中出）が歓喜した。道新人大会（2月）3位からはい上がっての全